

殊に吾々の日本の産業を道し、國民的運動を以て、國家の繁栄を念

願とするなれば、國民とし、國家として、大事業たるもので、漸じて、各職場的のものではない。かゝる大事業を眞実に貫かんとするなれば、事情の許す限りに於て專向的に、信頼ある人を幹部と採用すべきである。

むしろ日本のために、將又労働者のために、これ等の幹部が日夜研鑽し、想を練り従來の誤点を補つて、誤らざる方針に導き出すべく、鞭達すべきである。

### 罷業に對して

日本主義を主張する以上は出來得る限り罷業は避けなければならぬ。即ち罷業をせざるためにこそ組織する信念を持たなければならぬ。即ち組織の統制と運用は充分に産業人たる、日本國民の認識を正養し統制ある行動に依つて、煽動に乗せられず、我利に迷はず、産業を守護し振奮するの心構に依つて、企業家の全幅的信頼を充ち得る。そこに組織

の重要を吾々は持つ。而し乍ら日本の労働組合に尚多くの階級意識を主張し、闘ふ事の当然とする組合のあるが如く、利己一点張の企業家に對して、自からに對しての厚く、労働者を蔑視して取ちなさ、資本家に對しては、蹴起する事も已むを得ずと云わざるを得ない。

これはむしろ最悪の場合に於て止むを得ず訴へる手段であるが、日本人たる以上、誠意事に当れば常に誤解は消解し得て、釋然たる解決を得つゝあるは、吾聯合会の統計上に歴然と現れつゝある事實である。

即ち吾等は、平素から顧りみて正しい態度を持ち、自己の本分を竭し尚謙讓なる、道義を主張する。

### 政治運動に對して

吾々の運動精神から得すれば、職場だけの行動で眞の全きを得るものではない。経済的に、政治的に眞の行動を押し、進めてこそ日本革新の全きを得るのである。